



補足説明書

VHF/UHF DUAL BAND TRANSCEIVER

ID-5200

ID-5200D

本書では、リモート機能(CI-Vによるシリアル通信)について説明しています。

Icom Inc.

もくじ

リモート機能	2
■ CI-Vによる外部コントロール	2
◇パソコンとの接続	2
◇CI-Vのデータ設定	3
◇CI-Vの基本フォーマット	4
◇コマンド一覧	4
・ 受信周波数のデータ設定	6
・ 運用モードのデータ設定	6
・ オフセット周波数のデータ設定	6
・ 送信出力のデータ設定	6
・ マイクゲイン(外部)のデータ設定	6
・ VOXゲインのデータ設定	6
・ レピータトーン/トーンスケルチ周波数データ	6
・ DTCSコード/極性のデータ設定	6
・ 空線信号周波数のデータ設定	7
・ DV CSQコードの設定	7
・ DV自局コールサインデータ	7
・ DV送信コールサイン表示データ	7
・ DV送信メッセージデータ	8
・ DV受信コールサインデータ	8
・ DV受信メッセージデータ	9
・ DV受信ステータスデータ	9
・ GPS/D-PRSデータ	9
・ ポジションデータ	9
・ オブジェクトデータ	10
・ アイテムデータ	10
・ 気象データ	11
・ GPS/D-PRSメッセージ	11
・ DV送信データ	11
・ DV受信データのトランシーブ	11
・ 自局位置情報データ	11
・ GPSマニュアル入力位置データ	12

リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇ パソコンとの接続

本製品にパソコンを接続することにより、CI-Vシステムを利用して、パソコンから本製品の周波数や運用モードなどを外部コントロールできます。

CI-Vによるシリアル方式で通信します。接続方法には、下記の2とおりがあります。

◎ データ転送対応のUSBケーブル(別売品 OPC-2480、または市販品)で接続する場合

※ できるだけ短いUSBケーブルをご用意ください。

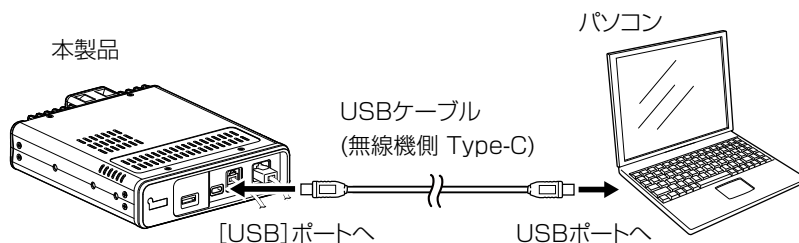
長さによっては、無線機を認識しても使用できないことがあります。

※ USBケーブルのプラグが本製品側とパソコン側で形状の異なる場合は、形状と差し込み方向にご注意ください。

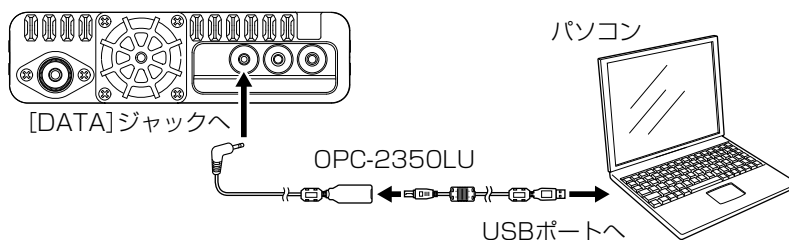
※ USBドライバーのインストール後、無線機をパソコンのUSBポートに接続すると、「ID-5200 Serial Port」の仮想ポート名で認識されます。

USBドライバーのダウンロード

USBケーブルでの接続に必要なUSBドライバー、およびインストールガイドは、弊社ホームページ(サポート情報→個人のお客様→ダウンロード)にアクセスして検索すると、ダウンロードできます。



◎ データ通信ケーブル(別売品 OPC-2350LU)で接続する場合



リモート機能

◇CI-Vのデータ設定

MENU画面から、下記の設定を変更、または確認してください。

※各設定項目の説明は、活用マニュアルをご覧ください。

MENU > SET > 外部端子 > **CI-V**

CI-V(シーアイ-ファイブ：ICOM Communication Interface V)システムを使用して外部からコントロール、または本製品の周波数や運用モードなどの情報を外部機器に送るときは、本製品のCI-Vアドレス、CI-Vトランシーブ★¹、CI-V DATAボーレート★²、エコバック★³のデータ設定が必要になります。

★1 CI-Vトランシーブは、本製品に接続されたほかの弊社製無線機などと連動して本製品の周波数や電波型式などを変更するときに設定してください。

★2 CI-V DATAボーレートは、本製品の[DATA]ジャックを経由して本製品を外部コントロールするときに必要な設定です。

★3 USBケーブル、またはデータ通信ケーブルで接続する前に、下記を設定してください。

◎USBケーブルの場合

「CI-V USBエコバック」をOFF、またはONに設定してください。

◎データ通信ケーブルの場合

「CI-V DATAエコバック」をOFF、またはONに設定してください。

MENU > SET > 外部端子 > **USB接続**

USBケーブルで接続する前に、MENU画面の「USB接続」が「シリアルポート」(初期設定)に設定されていることを確認してください。

MENU > SET > 外部端子 > シリアルポート機能 > DATA端子機能 > **CI-V**

[DATA]ジャックで接続する前に、MENU画面の「DATA端子機能」が「CI-V」に設定されていることを確認してください。

リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇ CI-Vの基本フォーマット

下図のCI-V基本フォーマット内の各コマンドやデータは、6ページ以降をご覧ください。

(1) コントローラー(パソコン) → 無線機(ID-5200/ID-5200D)

① プリアンブル				② 受信 アドレス		③ 送信 アドレス		④ コマンド		⑤ サブ コマンド		⑥ データエリア								⑦ ポスト アンブル	
F	E	F	E	B	8	E	0	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	F	D

(2) 無線機 → コントローラー

① プリアンブル				② 受信 アドレス		③ 送信 アドレス		④ コマンド		⑤ サブ コマンド		⑥ データエリア								⑦ ポスト アンブル	
F	E	F	E	E	0	B	8	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	F	D

- ① **プリアンブル** : データのはじめに挿入する同期用のコードで、16進数の「FE」を2回送出します。
- ② **受信アドレス**/③ **送信アドレス** : 本製品のアドレスを「B8(16進数)」、パソコンのアドレスを「E0(16進数)」としたときの例を示しています。
- ④ **コマンド** : コントロールできる機能を16進数2桁でコマンドとしています。
※無線機からパソコンへの応答確認メッセージは、OKの場合は「FB(16進数)」を送出し、NGの場合は「FA(16進数)」が送出されます。
- ⑤ **サブコマンド** : コマンド補足命令として、16進数2桁を使用します。
- ⑥ **データエリア** : 周波数データなどをセットするエリアです。(各データエリアの詳細 : P.6～P.12)
※データによって、長さが変化します。
- ⑦ **ポストアンブル** : メッセージの終わりを示すコードで、「FD(16進数)」とします。

◇ コマンド一覧

コマンド	サブ	データ	TM	動 作
00		P.6	注4	周波数データの設定(トランシーブ)
01		P.6	注4	運用モードの設定(トランシーブ) ※02=AM、05=FM、17=DV
03		P.6	注4	表示周波数の読み込み
04		P.6		表示モードの読み込み
05		P.6	注4	周波数データの設定
06		P.6	注4	モードの設定
07				VFOモードにする
	D0			Aバンドに設定 デュアル時 : MAINをAバンドにする シングル時 : Aバンドに切り替える
	D1			Bバンドに設定 デュアル時 : MAINをBバンドにする シングル時 : Bバンドに切り替える
	D2			現在のMAINバンドの読み込み 00=Aバンド、01=Bバンド
0C		P.6		オフセット周波数の読み込み(注1)
0D		P.6	注4	オフセット周波数を設定
0F				現在のデュプレックスの読み込み ※00=OFF、11=DUP-、12=DUP+
	10			シンプレックスモードに設定
	11		注4	デュプレックス(-)モードに設定
	12		注4	デュプレックス(+)モードに設定
14*	01	00 00 ～ 02 55		音量の設定 ※00 00(最小)～01 28(センター) ～02 55(最大)
	03	00 00 ～ 02 55	注4	SQL(スケルチ)レベルの設定 ※00 00(最小)～01 28(センター) ～02 55(最大)
	0A	P.6	注4	送信出力の設定
	0B	P.6		マイクゲインの設定
	16	P.6		VOX(ボックス)ゲインの設定

コマンド	サブ	データ	TM	動 作
15	01	00/01		ノイズスケルチ、Sメータースケルチの状態の読み込み ※00=CLOSE、01=OPEN
	02	00 00 ～ 02 55	注4	Sメーターレベルの読み込み ※00 00=SO、01 70=S9
	05	00/01		各種スケルチ機能を含めたスケルチの状態の読み込み ※00=CLOSE、01=OPEN
	11	00 00 ～ 02 55	注4	RFメーターレベルの読み込み ※50W機 : LOW=00 26、MID=00 77、HIGH=02 55 ※20W機 : LOW=00 26、MID=01 28、HIGH=02 55
16*	42	00/01	注4	TONE(トーン)の設定 ※00=OFF、01=ON
	43	00～02	注4	トーンスケルチ機能の設定 ※00=OFF、01=TSQL、 02=TSQL-R
	46	00/01		VOX(ボックス)機能の設定 ※00=OFF、01=ON
	4B	00～02	注4	DTCS(DTCSコードスケルチ)の設定 ※00=OFF、01=DTCS、 02=DTCS-R
	54	00～02	注4	空線キャンセラーの設定 ※00=OFF、01=TRAIN1、 02=TRAIN2
	59	00 01		シングルワッチモードに設定 デュアルワッチモードに設定

※「*」マークの項目は読み込み/設定ができます。

リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇コマンド一覧

コマンド	サブ	データ	TM	動作
16*	5B	00~02		DVモード運用時のデジタルスケルチの設定 ※00=OFF、 01=DSQL(デジタルコールサインスケルチ)、 02=CSQL(デジタルコードスケルチ)
	5C	00~02		GPS送信モードの設定 ※00=OFF、01=D-PRS、 02=NMEA
	5D	00~0B	注4	トーンスケルチ機能の設定 ※00=OFF、01=TONE、 02=TSQ、03=DTCS、 04=TSQ-R、05=DTCS-R、 06=DTCS(T)、 07=TONE(T)/DTCS(R)、 08=DTCS(T)/TSQ(R)、 09=TONE(T)/TSQ(R)、 0A=TRAIN1、0B=TRAIN2
18	00			電源を切る
	01			電源を入れる(注2)
19	00			本体のIDコードを読み込む
1A	00	00/01 (注5)		KISSモードの設定 ※00=OFF、01=ON
1B*	00	P.6	注4	TONE(レピータトーン)周波数の設定
	01	P.6	注4	TSQ(トーンスケルチ用トーン)周波数の設定
	02	P.6	注4	DTCS(DTCSコードスケルチ)コードの設定
	06	P.7	注4	空線キャンセラー TRAIN1空線信号周波数の設定
	07	P.7		DV CSQL(デジタルコードスケルチ)コードの設定
1C*	00	00/01		送受信の切り替え ※00=受信、01=送信
1F*	00	P.7		DV自局コールサインの設定
	01	P.7		DV送信コールサインの設定
	02	P.8		DV送信メッセージの設定
20	00	00*	00/01 (注3)	DV受信コールサインデータの出力設定 ※00=OFF、01=ON
		01	P.8	DV受信コールサインのトランシーブ
		02	P.8	DV受信コールサインの読み込み
	01	00*	00/01 (注3)	DV受信メッセージの出力設定 ※00=OFF、01=ON
		01	P.9	DV受信メッセージのトランシーブ
		02	P.9	DV受信メッセージの読み込み
	02	00*	00/01 (注3)	DV受信ステータスの出力設定 ※00=OFF、01=ON
		01	P.9	DV受信ステータスのトランシーブ
		02	P.9	DV受信ステータスの読み込み
	03	00*	00/01	DV受信GPS/D-PRSデータの出力設定 ※00=OFF、01=ON
		01	P.9 ~ P.11	DV受信GPS/D-PRSデータのトランシーブ
		02	P.9 ~ P.11	DV受信GPS/D-PRSデータの読み込み
	04	00*	00/01	DV受信GPS/D-PRSメッセージの出力設定 ※00=OFF、01=ON
		01	P.11	DV受信D-PRSメッセージのトランシーブ
		02	P.11	DV受信D-PRSメッセージの読み込み

コマンド	サブ	データ	TM	動作
22	00		P.11	DV送信データの設定 最大30Byteのデータ
	01	00*	00/01	DV受信データの出力設定 ※00=OFF、01=ON
		01	P.11	DV受信データのトランシーブ 最大30Byteのデータ
	02*		00/01	DVデータ送信設定 ※00=PTT、01=オート
	03*		00/01	DVファーストデータ ※00=OFF、01=ON
	04*		00/01	GPSデータ速度 ※00=スロー、01=ファースト
	05*		00~10	送信延長(PTT) ※00=OFF、01=1秒~10=10秒
23	00		P.11	自局位置データの読み込み
	01*		00~03	使用GPS選択 ※00=OFF、01=内蔵GPS、 02=外部GPS、03=マニュアル入力
	02*		P.12	GPSマニュアル位置
24	00	00*	00/01	TXの出力設定 ※00=OFF、01=ON
		01	00/01	TXのトランシーブ ※00=OFF、01=ON

※「*」マークの項目は読み込み/設定ができます。

注1：100Hz未満は切り捨てます。

注2：電源ONコマンド(18 01)を[DATA]ジャックを使用して送る場合、基本フォーマットの前に「FE」を連続して送る必要があります。

下記は、基本フォーマットの前に必要な「FE」の個数の目安です。

・4800bps : 230個

・9600bps : 450個

・19200bps : 900個

例：4800bpsで通信している場合

		① プリアンブル		② 受信 アドレス		③ 送信 アドレス		④ コマンド		⑤ サブ コマンド		⑦ ポスト アンブル			
F	E	F	E	F	E	B	8	E	0	1	8	0	1	F	D

x230

×230

注3：データの出力設定は、途中で電源を切るとOFFに戻ります。

注4：ターミナルモード(TM)のときは、設定できません。

注5：データバンドで設定されている側の運用モードがFM/FM-Nのときに設定できます。

リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇コマンド一覧

受信周波数のデータ設定

コマンド：00、03、05

①	②	③	④	⑤
X	0	X	X	X
↑	↑	↑	↑	↑
10Hz桁:0.5 (100Hzに依存)	1Hz桁:0 (固定)	1kHz桁:0~9	100Hz桁:0.2,5,7	100kHz桁:0~9
		10kHz桁:0~9	10MHz桁:0~9	1MHz桁:0~9
			1000MHz桁:0 (固定)	100MHz桁:1~5

※10Hz桁は、100Hz桁が2、または7であれば5固定となり、そのほかは0固定になります。

運用モードのデータ設定

コマンド：01、04、06

①	②
X	X

運用モード	① モード	② フィルター設定
AM	02	01
AM-N	02	02
FM	05	01
FM-N	05	02
DV	17	01

オフセット周波数のデータ設定

コマンド：0C、0D

①	②	③
X	X	X
↑	↑	↑
1kHz桁	100Hz桁	100kHz桁
	10kHz桁	10MHz桁
		1MHz桁

送信出力のデータ設定

コマンド：14 0A

Low	Mid	High
00 00~00 84	00 85~01 70	01 71~02 55

マイクゲインのデータ設定

コマンド：14 0B

1	2	3	4
00 00~00 63	00 64~01 27	01 28~01 91	01 92~02 55

VOXゲインのデータ設定

コマンド：14 16

OFF	1	2	3
00 00~00 22	00 23~00 46	00 47~00 69	00 70~00 92
4	5	6	7
00 93~01 15	01 16~01 39	01 40~01 62	01 63~01 85
8	9	10	
01 86~02 08	02 09~02 32	02 33~02 55	

レピータートーン/トーンスケルチ周波数データ

コマンド：1B 00、1B 01

①	②	③
0	0	X
↑	↑	↑
固定:0	固定:0	100Hz桁
		10Hz桁
		1Hz桁
		0.1Hz桁

★周波数を設定するときは、入力不要

トーン周波数の一覧は、活用マニュアルの12章をご覧ください。

DTCSコード/極性のデータ設定

コマンド：1B 02

①	②	③
X	0	X
↑	↑	↑
送信時の極性:0,1★	固定:0	100桁:0~7
受信時の極性:0,1★		10桁:0~7
		1桁:0~7

★ 極性を反転しないときは0、反転するときは1を設定してください。

※DTCSコードの一覧は、活用マニュアル(12章)をご参照ください。

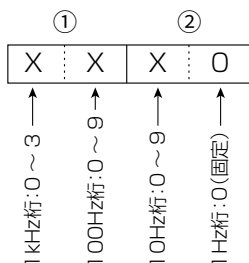
リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇コマンド一覧

空線信号周波数のデータ設定

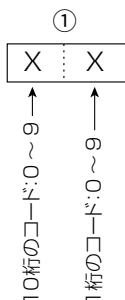
コマンド：1B 06



※空線信号周波数は、300～3000Hzの範囲(10Hz刻み)で設定します。

DV CSQLコードの設定

コマンド：1B 07

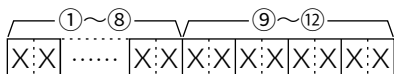


DV自局コールサインデータ

コマンド：1F 00

全12文字★¹

★1 コールサインの入力文字コード(下表参照)



①～⑧：自局のコールサイン(8文字)

⑨～⑫：メモ(4文字)

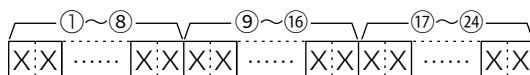
※ターミナルモード時は、自局コールサイン(TM)の設定が対象です。

DV送信コールサイン表示データ

コマンド：1F 01

全24文字★²、または全8文字★³

★2 コールサインの入力文字コード(下表参照)

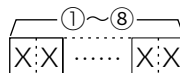


①～⑧：相手局のコールサイン(UR)(8文字)

⑨～⑫：アクセスレピータ(R1)のコールサイン(8文字)

⑬～⑭：ゲートウェイ局(R2)のコールサイン(8文字)

★3 コールサインの入力文字コード(下表参照)



①～⑧：相手局のコールサイン(UR)(8文字)

コールサインの入力文字コード

キャラクター	ASCII コード	説明
0～9	30～39	数字
A～Z	41～5A	英字(大文字)
(スペース)	20	語間(文末以降は、データなしと同じ)
/	2F	記号

リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇コマンド一覧

DV送信メッセージデータ

コマンド：1F 02

全20文字★⁴

★⁴ 各種入力文字一覧データ(下表参照)

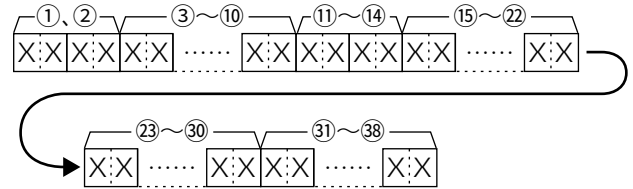
※FF：TXメッセージOFF

各種入力文字一覧データ

キャラクター	ASCIIコード	説明	キャラクター	ASCIIコード	説明
0～9	30～39	数字	’	27	記号
A～Z	41～5A	英字	`	60	記号
a～z	61～7A	英字	^	5E	記号
ア～ン	B1～DD	仮加	+	2B	記号
ヲ	A6	仮加	—	2D	記号
ア～ツ	A7～AF	仮加	*	2A	記号
スペース	20	仮+ス	/	2F	記号
°	DE	記号	.	2E	記号
°	DF	記号	,	2C	記号
—	B0	記号	:	3A	記号
、	A4	記号	:	3B	記号
。	A1	記号	=	3D	記号
・	A5	記号	<	3C	記号
「	A2	記号	>	3E	記号
」	A3	記号	(	28	記号
!	21	記号	)	29	記号
#	23	記号	[	5B	記号
\$	24	記号	]	5D	記号
%	25	記号	{	7B	記号
&	26	記号	}	7D	記号
¥	5C	記号		7C	記号
?	3F	記号	_	5F	記号
"	22	記号	—	7E	記号
			@	40	記号

DV受信コールサインデータ

コマンド：20 00 01、20 00 02



①ヘッダーフラグデータ(1バイト目)

データ	説明
bit7	0(固定) —
bit6	0(固定) —
bit5	0(固定) —
bit4	0/1 0=音声、1=データ
bit3	0/1 0=直接、1=中継
bit2	0/1 0=割り込みなし、1=割り込みあり
bit1	0/1 0=データ、1=制御
bit0	0/1 0=通常通信、1=緊急通信

②ヘッダーフラグデータ(2バイト目)

データ			機能	説明
bit2	bit1	bit0		
1	1	1	レピータ局制御	レピータ局の制御モード
1	1	0	自動応答	自動応答時に使用
1	0	1	(未使用)	(未使用)
1	0	0	再送	再送要求フラグ
0	1	1	ACK	ACKフラグ
0	1	0	応答なし	応答なしフラグ
0	0	1	中継不可	中継不可フラグ
0	0	0	NULL	NULL

③～⑩ CALLERのコールサイン(8文字)★⁵

⑪～⑭ CALLERのコールサイン以降のメモ(4文字)★⁵

⑮～⑳ CALLEDのコールサイン(8文字)★⁵

㉓～㉟ RXRPT1のコールサイン(8文字)★⁵

㉑～㉟ RXRPT2のコールサイン(8文字)★⁵

★⁵ 各種入力文字一覧データ(左表参照)

※FF：電源ON後、一度もコールサインを受信していないとき

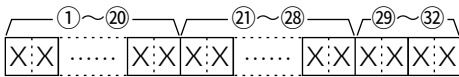
リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇ コマンド一覧

DV受信メッセージデータ

コマンド：20 01 01、20 01 02



①～②① メッセージ(20文字)★⁶

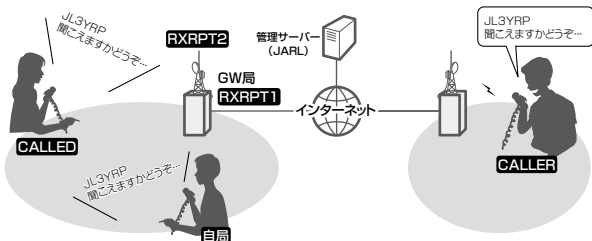
②②～②⑧ CALLERのコールサイン(8文字)★⁶

②⑨～③② CALLERのコールサイン以降の文字(4文字)★⁶

★⁶ 各種入力文字一覧データ参照(P.8)

※OFF：電源ON後、一度もコールサインを受信していないとき

(例：ゲートウェイ通信で受信した場合)



CALLER：送信局のコールサイン

CALLED：送信局に呼び出された局のコールサイン

RXRPT1：送信局からみたアクセスレピータのコールサイン

※ゲートウェイ通信で呼び出された場合は、自局が直接受信したレピータのゲートウェイ局

RXRPT2：自局が直接受信したレピータのコールサイン

DV受信ステータスデータ

コマンド：20 02 01、20 02 02

データ	機能	説明
bit7 0	0(固定)	—
bit6 0/1	通話状態	1：DSQL/CSQLの設定に関係なくDVで受信
bit5 0/1	終話理由	1：ユーザー操作で終話時
bit4 0/1	着信状態	1：受信音が聞こえる状態
bit3 0/1	BK受信状態	1：BK受信
bit2 0/1	EMR受信状態	1：EMR受信
bit1 0/1	DV以外受信	1：DV以外受信
bit0 0/1	パケットロス状態	1：パケットロスで受信

GPS/D-PRSデータ

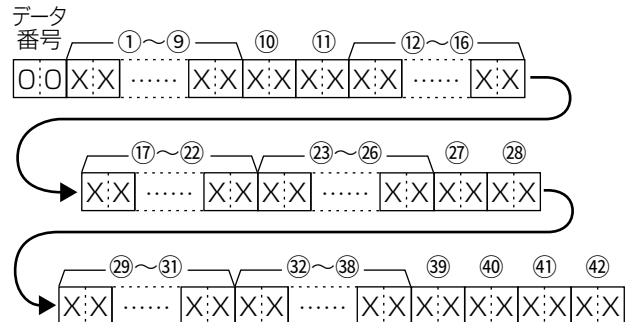
コマンド：20 03 01 00、01 01、01 02、01 03、02 00、02 01、02 02、02 03

データ番号とデータ内容

データ番号	データ内容
00	D-PRSのポジション
01	D-PRSのオブジェクト
02	D-PRSのアイテム
03	D-PRSの気象

ポジションデータ

コマンド：20 03 01 00、20 03 02 00



①～⑨ コールサイン/SSID

(9桁のアスキーコード

(A～Z、0～9、/、-、(スペース)))

⑩、⑪ シンボル

(2桁のアスキーコード(00h～EFh))

⑫～⑯ 緯度(dd° mm.mmm 形式)

⑰～⑱ 経度(ddd° mm.mmm 形式)

⑲～⑳ 高度(0.1m刻み)

㉑、㉒ 進路(1度刻み)

㉓～㉕ 速度(0.1km/h刻み)

㉖～㉘ 日時(UTC)

(YYYY年MM月DD日hh時mm分ss秒の形式)

㉙～㉚ 下表参照

項目	㉙出力	㉚地上高	㉛ゲイン	㉜指向性
00	0	3/10	0	無指向性
01	1	6/20	1	45° NE
02	4	12/40	2	90° E
03	9	24/80	3	135° SE
04	16	49/160	4	180° S
05	25	98/320	5	225° SW
06	36	195/640	6	270° W
07	49	390/1280	7	315° NW
08	64	780/2560	8	360° N
09	81	1561/5120	9	—
単位	W	m/ft	dB	deg

※GPS(NMEA)受信時に、データが未測定だった場合、コールサイン以外は、すべて0xFFで埋まります。

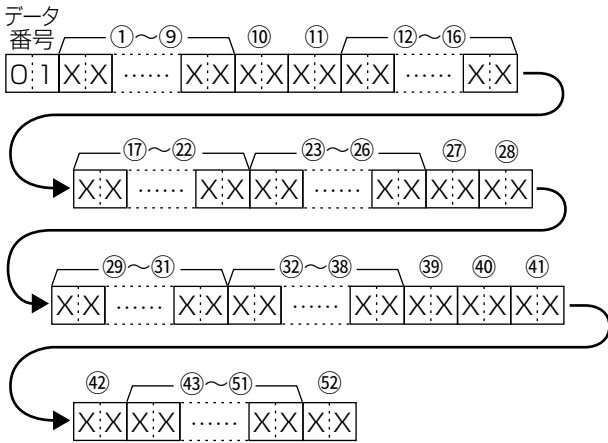
リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇ コマンド一覧

オブジェクトデータ

コマンド：20 03 01 01、20 03 02 01



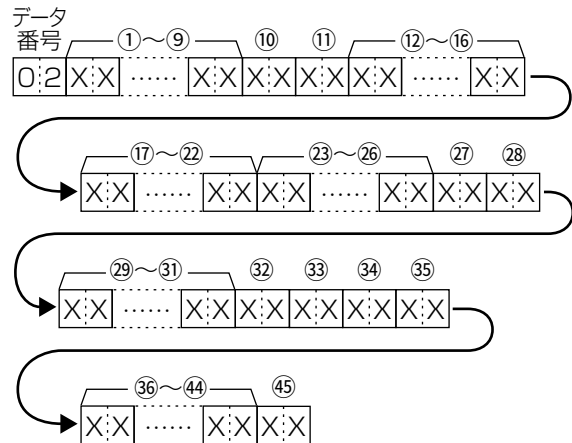
- ①～⑨ コールサイン/SSID
(9桁のアスキーコード
(A～Z、0～9、/、-、(スペース)))
- ⑩、⑪ シンボル
(2桁のアスキーコード(00h～EFh))
- ⑫～⑯ 緯度(dd° mm.mmm 形式)
- ⑰～⑳ 経度(ddd° mm.mmm 形式)
- ㉑～㉒ 高度(0.1m刻み)
- ㉓、㉔ 進路(1度刻み)
- ㉕～㉖ 速度(0.1km/h刻み)
- ㉗～㉘ 日時(UTC)
(YYYY年MM月DD日hh時mm分ss秒の形式)
- ㉙～㉚ 下表参照

項目 値	㉙出力	㉚地上高	㉛ゲイン	㉜指向性
00	0	3/10	0	無指向性
01	1	6/20	1	45° NE
02	4	12/40	2	90° E
03	9	24/80	3	135° SE
04	16	49/160	4	180° S
05	25	98/320	5	225° SW
06	36	195/640	6	270° W
07	49	390/1280	7	315° NW
08	64	780/2560	8	360° N
09	81	1561/5120	9	—
単位	W	m/ft	dB	deg

- ㉛～㉜ ネーム(9桁のアスキーコード(00h～EFh))
- ㉜ タイプ(01=Live、00=Killed)

アイテムデータ

コマンド：20 03 01 02、20 03 02 02



- ①～⑨ コールサイン/SSID
(9桁のアスキーコード
(A～Z、0～9、/、-、(スペース)))
- ⑩、⑪ シンボル
(2桁のアスキーコード(00h～EFh))
- ⑫～⑯ 緯度(dd° mm.mmm 形式)
- ⑰～⑳ 経度(ddd° mm.mmm 形式)
- ㉑～㉒ 高度(0.1m刻み)
- ㉓、㉔ 進路(1度刻み)
- ㉕～㉖ 速度(0.1km/h刻み)
- ㉗～㉘ 下表参照

項目 値	㉙出力	㉚地上高	㉛ゲイン	㉜指向性
00	0	3/10	0	無指向性
01	1	6/20	1	45° NE
02	4	12/40	2	90° E
03	9	24/80	3	135° SE
04	16	49/160	4	180° S
05	25	98/320	5	225° SW
06	36	195/640	6	270° W
07	49	390/1280	7	315° NW
08	64	780/2560	8	360° N
09	81	1561/5120	9	—
単位	W	m/ft	dB	deg

- ㉛～㉜ ネーム(9桁のアスキーコード(00h～EFh))
- ㉜ タイプ(01=Live、00=Killed)

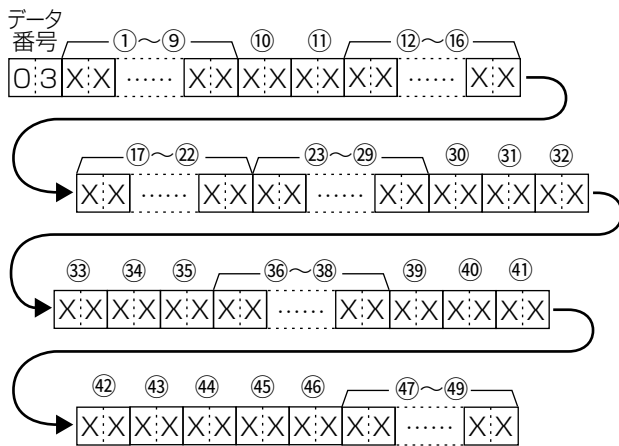
リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇コマンド一覧

気象データ

コマンド：20 03 01 03、20 03 02 03



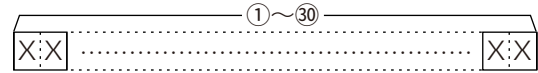
GPS/D-PRSメッセージ

コマンド：20 04 01、20 04 02



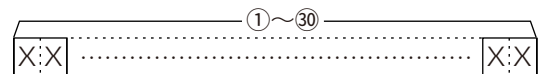
DV送信データ

コマンド：22 00



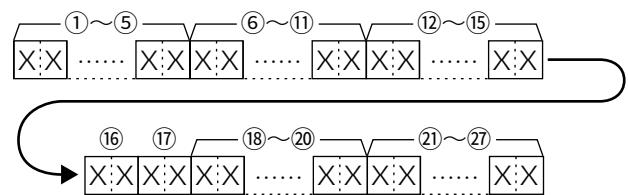
DV受信データのトランシーブ

コマンド：22 01 01



自局位置情報データ

コマンド：23 00



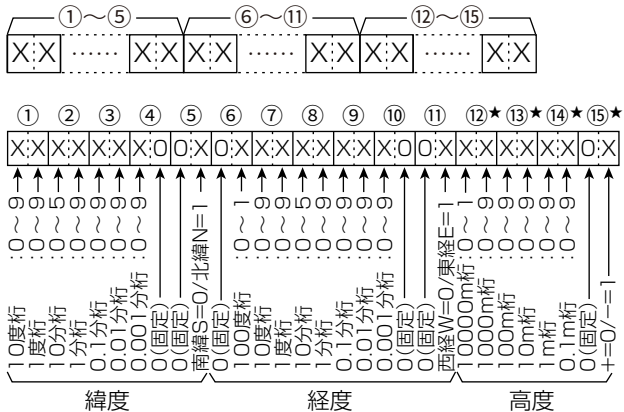
リモート機能

■ CI-Vによる外部コントロール

◇ コマンド一覧

GPSマニュアル入力位置データ

コマンド：23 02



①～⑤ 緯度(dd° mm.mmm 形式)

⑥～⑪ 経度(ddd° mm.mmm 形式)

⑫～⑮ 高度(0.1m刻み)

★ 読み込みや高度無効のときは、FFを4バイトすべてに応答します。

書き込み時、高度無効を設定するには、FFを4バイトすべてに設定します。

